



子育てひろば

にこにこ通信



令和4年9月発行
西葛西おひさま保育園

今日は、子育てひろば「にこにこくらぶ」にご参加頂き、ありがとうございました！
今後も是非、遊びにいらして下さい。お待ちしております。

乳幼児に多いけがの手当

乳幼児は、頭部を占める割合が大きいため転びやすく、視野が大人に比べて狭いため、危険物の回避がしにくいといった特徴があります。乳幼児に怪我はつきものです。未然に防ぐことが重要ですが、もし起こってしまっても慌てないための対応を紹介します。

○頭を打った

頭部のへこみや傷・はれ、出血、手足の動きに異常はないかを確認します。頭を打った時にはすぐに泣いて、子どもの様子に大きな変化が無ければひとまず安心です。頭を冷やす等して、静かに休ませ、1～2日は子どもから目を離さないようにします。

意識が無い、またはもうろうとしている、けいれんを起こした、嘔吐を繰り返す、出血が止まらない場合には、救急車を呼びます。

○鼻血

椅子等に座らせて、下を向いて鼻をつまむようにして押さえます。血は飲み込まないようにし、ペッ！と吐き出すようにします。

鼻血が出た時には、上を向いたり、仰向けになったりしないで下さい。15分以上出血が続いて止まらない場合や、頭を強く打った後の鼻血の場合は、すぐに病院を受診しましょう。

○すり傷・切り傷

軽いすり傷、切り傷の場合は、流水で傷口をきれいに洗います。傷口をきれいなガーゼなどで覆い、抑えて止血します。傷パッド、ばんそうこう等で傷を保護します。

顔や頭を切った、傷口が大きく開いている、傷口に異物が深く刺さっている（小石、ガラス等）、出血量が多い、不衛生な場所や物で怪我をした場合は、病院を受診します。



10月の子育てひろば「にこにこくらぶ」

10月18日(火) 園庭遊び 「身体をいっぱい動かそう！」

10月25日(火) ハロウィン製作 「ハロウィン製作！何を作るかはお楽しみに☆」